

## 第2回 学校運営協議会 議事録

|     |           |
|-----|-----------|
| 校名  | 府立 岬高等 学校 |
| 校長名 | 中村 公一     |

|         |  |
|---------|--|
| 開催日時    | 令和5年10月4日(水)   |
| 開催場所    | 大阪府立岬高等学校 会議室  |
| 出席者(委員) | 保井太郎 会長 、 島崎英夫 副会長 、 信田清志 委員<br>尾保手崇 委員 、 田中繁樹 委員 、 齋藤 緑 委員                                      |
| 出席者(学校) | 中村公一 校長 、 小幡和子 事務長 、 中原浩育 教頭 、 栩原正明 教頭<br>首席、進路指導主事、保健主事、教育相談委員長、パスファインダー長<br>学年主任3名、地域連携主担、教諭3名 |
| 傍聴者     | なし   |
| 協議資料    | ①令和5年度使用教科書の選定について   |
| 備考      |  |

### 議題等(次第順)

1. 【はじめに】
  - ① 学校長挨拶
  - ② 学校運営協議会参加者名簿
2. 【連絡及び報告】
  - ① 第1回授業アンケート結果
  - ② 多様な教育実践校(ステップスクール)にむけての進捗について
  - ③ 各部署の事業報告
3. 【協議事項】
  - ① 令和5年度使用教科書の選定について
4. 【事務連絡】

### 協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. 【はじめに】
    - ① 学校長挨拶
    - ② 学校運営協議会参加者の紹介
  2. 【連絡及び報告】
    - ① 第1回授業アンケート結果  
全体的に昨年度より若干数値が落ちている。明確な理由はわからない。しかし、統計を取り始めたH30年から比べると全体的には上がってきてる。
    - ② 多様な教育実践校(ステップスクール)に向けての進捗
    - ③ 各部署の事業報告
- 【事務室】**  
**教育設備の整備**  
 1 教室長尺シートの張替え、2 体育館スクリーンの更新、3 ステージ用タラップの更新  
 4 多目的広場・グラウンドの整備、グラウンド防球ネットの一部改修  
 5 手動水栓の自動水栓化、和式トイレの洋式化、洋式トイレの一部改修  
 6 石灰倉庫の更新、7 体育館エントランス・筋トレルーム・食堂の整備
- 施設の整備**  
 1 大規模改修工事、2 下足室天井の取り換え、3 校長室・保健室の扉の取り換え  
 老朽化している部分はまだまだあるので、今後も改修改善できるように進めていきたい。

### 【進路指導部】

#### 求人状況

新型コロナウイルスによる影響が落ち着き、サービス関係の求人が増えた。  
今年度445件の求人票を登録のうち117件は指定校求人である。  
生徒が個人端末で求人票を閲覧できるようにした。来年度もこの形で進めたい。

#### 現在の進路希望状況

就職46名(10名縁故) 進学37名 福祉就労3名(A型 A型またはB型 生活介護) 未定5名  
現在、学校斡旋就職を応募した28名中20名が内定をいただいている。  
また、専門学校は総合型選抜で12名が合格している。  
今後、指定校推薦で四年制大学5名、専門学校1名・短大1名が受験予定。  
また、看護専門学校等4名が現在受験にむけて勉強中。

福祉就労について校内研修および保護者個別懇談を来年度も行う予定。

### 【広報関係】

#### 学校説明会(外部)

現在、3回終了しており、年内あと2回実施予定。

#### 中学校よりの依頼

出前授業や学校説明、学校見学の対応等5件対応済み。

#### 支援教育に関する学校説明

泉南地区支援教育研究会と手をつなぐ親の会と共催し多くの参加者が集まった。

#### 中学校訪問

52校に訪問を実施。泉南地区だけでなく、大阪北部にも範囲が広がりがつつある。

#### オープンスクール

1回目が終了。中学生の参加者78名。付き添いの保護者約50名、学校関係者約10名であった。

### 【山海人】

コロナが落ち着いたので岬町と連携して活動する。  
今年は1年通学路、2年里海公園、3年長松海岸で清掃活動を行う。

### 【地域連携分野】

① 岬町と包括連携協定(深日港フェスティバル・深日洲本ライナー淡路島・深日保育所) ② 共新と包括連携協定  
③ モノポリー ④ 女子ビーチサッカー ⑤ 大阪観光大学 ⑥ グレーターミナミ ⑦ 生き物一斉調査  
その他 ブルーベリーファームみさき、大阪公立大学留学生トレッキングツアー、森永製菓、深日漁協組合と連携を行った。  
今後、今の連携先をどう授業に落とし込めるか。令和6年度からの総合的な探究の時間の計画を求具体的に立ててゆく。

### 【質疑応答】

Qオープンスクールの当日の参加人数は?

A中学生78名 保護者約50名 学校関係者約10名

SSになるにあたって、保護者の参加や中学校教員の参加人数が多いように思えた。

Q地域連携により、生徒にどのような変容がみられたか。

A深日保育所との交流では、内気だった生徒が積極的に周囲と関わろうとする様子がみられた。留学生との交流会では、生徒から「いい体験をしました」という言葉があり、また、留学生からも「日本にきて一番いい思い出となった」という感想をもらった。普段関わらない教員以外の大人との交流をはかることにより、生徒のコミュニケーションの幅が広がっていると感じている。

### 3.【協議事項】

①令和6年度 使用教科書の選定 → 承認

### 次回の会議日程

|    |             |
|----|-------------|
| 日時 | 令和6年2月2日(金) |
| 会場 | 大阪府立岬高等学校   |